

「安倍9条改憲NO！3000万人署名」の宣伝スポット例（1332字）

2017・11・30作成

みなさんこんにちは。こちらは日本共産党（〇〇支部）（の〇〇）です。

いま、この場をお借りして、「安倍首相が憲法9条を変えることには反対だ」という署名を行っています。この署名は、作家の瀬戸内寂聴さんやノーベル賞受賞者の益川敏英さんなどが、立場の違いを超えて、憲法9条の改憲に反対しましょうと呼びかけたものです。来年5月までに3000万人の署名をめざしています。日本共産党も幅広い皆さんと協力して署名を進めています。ぜひご協力ください。

安倍首相は、憲法9条を変えようと言っています。改憲案を来年の通常国会に提出し、国民投票に持ち込もうとしています。

自衛隊は、いままで災害派遣などで大きな貢献を行ってきました。私たちは、こうした活動に感謝しています。「日本は戦争をしない」「そのための戦力は持たない」と定めた憲法9条のおかげで、自衛隊員は、海外での戦争にかりだされることはありませんでした。しかし、安倍首相のもとで、安全保障法制Ⅱ戦争法が強行採決され、これまで「できない」とされてきた、自衛隊の海外派兵と武力行使ができる自衛隊に変えられました。

安倍首相は、「戦争はしない」「戦力はもたない」という現在の9条1項、2項は残して、自衛隊の存在を書き込むだけだから、何も変わらないと言っています。これはごまかしです。法律の世界では、後から作った法律は先の法律に優先します。自衛隊の存在を憲法に書き込めば、戦争の放棄と、武力を持たないという9条1項、2項よりも、戦争法が道を開いた自衛隊の海外派兵と武力行使が優先されてしまいます。9条が空文化され、戦争に自衛隊を巻き込むことになってしまいます。日本の平和と安全を守るためにも、そして、自衛隊員が、殺し、殺される戦争に巻き込まれないためにも、憲法9条を変えさせてはなりません。署名にぜひご協力ください。

改憲勢力は、北朝鮮の問題があるから、9条の改定が必要といます。もちろん、北朝鮮の核・ミサイル開発は許せるものではありません。同時に、いま一番大切なことは、戦争をおこしてはならないということです。戦争が起これば、朝鮮半島にも、日本にも、想像を絶する被害が生じます。北朝鮮への経済制裁は必要ですが、対話による平和解決の努力が大切です。安倍内閣は、圧力一辺倒です。この方向では、偶発的な戦争が起こる危険が高まってしまいます。平和憲法を持つ日本こそ、対話による平和解決の先頭に立って外交努力をすべきではないでしょうか。憲法9条を変えて、自衛隊の武力行使を拡大するなどは、戦争の危険をさらに高めてしまいます。

みなさん。憲法9条は、日本の宝、世界の宝です。この憲法があったからこそ、自衛隊が海外で戦争することはありませんでした。軍事費を抑制し、民生分野の経済成長と国民生活にお金を回すことができました。学術・文化の面でも、軍事優先の研究などでなく平和と福祉のために貢献してきました。この憲法9条を安倍首相の手から、しっかり守り抜きましょう。

みなさん、いまこそ、政党党派・立場の違いを超えて、安倍首相がねらう憲法9条改憲にNOの声をあげましょう。改憲の発議をやめさせましょう。9条改憲NOの署名を、国民的な規模で広げるとにご協力ください。